

夜と霧 (1955)

NUIT ET BROUILLARD
NIGHT AND FOG

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 フランス
色彩 B&W/C
時間 32分
初公開日 1961/10/20
公開情報 ヘラルド
リバイバル 1972/10 [ヘラルド]

【キャッチコピー】

4百万ユダヤ人の大量虐殺！ 完成以来17年一遂にノーカット版公開！！

【解説】

ホロコーストに関するドキュメンタリーが数あれど、そのいずれも曖昧なものになってしまうほど、本作の印象は強い。何が優れているか。まず、現在のアウシュビッツ強制収容所の廃墟を映し出すG・クロケとS・ヴィエルニのカメラの冷徹な美しさが違う。厳粛な事実の記録を真っ向にし、その悲しみに負けず拮抗する映像が得も言われぬ緊張感を醸す。抑えたナレーションはミシェル・ブーケ。そのテキスト（J・ケイヨール）はまことに詩的である。そして、何よりも素晴らしいのはH・アイスラーの音楽。特に収容所内での残虐行為のスチールを連ねるクライマックスとも言えるシーケンスで、流れるスコアの玄妙な穏やかさがかえって恐怖をたちのぼらせる迫力はどうだ。この僅か30分ばかりの映画は確実に観る者の人生に少なからぬ影響を与えるだろう。

【クレジット】

監督	アラン・レネ	Alain Resnais
製作	アナトール・ドーマン	Anatole Dauman
原作	ジャン・ケイヨール	Jean Cayrol
脚本	ジャン・ケイヨール	Jean Cayrol
撮影	ギスラン・クロケ	Ghislain Cloquet
	サッシャ・ヴィエルニ	Sacha Vierny
音楽	ハンス・アイスラー	Hanns Eisler
ナレーション	ミシェル・ブーケ	Michel Bouquet